

## 長崎労働局管内の化学物質による労働災害(令和4年－6年)

休業4日以上

番号	業種	作業内容	年代	休業見込	傷病	事案の概要
1	製造業 (造船)	塗装	40代	4月	呼吸器系 (骨折)	船体ブロック内の塗装を行っていた作業員がブロック外の昇降設備で倒れているのを発見。防毒マスクの吸収缶が外れており有機溶剤中毒と診断。
2	製造業 (食品)	製造	50代	6月	薬傷	作業場を移動中に転倒。他の作業員が薬剤希釈液を床に散布していたが表示がなく、水と思い作業を継続。数分後に背中等に熱感と痛みを感じて着替えた際に皮膚の炎症を確認。
3	清掃 (産廃)	製造	20代	2月	薬傷	工場内清掃用の洗浄液を作るため、容器に苛性ソーダを投入する際に苛性ソーダの粉末が長靴の中に入り、痛みが出たため水で洗ったが右足脛に薬傷(皮膚壊死)を負った。
4	製造業 (食品)	清掃	60代	1月	薬傷	防油堤の洗浄のため、バケツに入れた苛性ソーダ(水溶液)を掛ける際に、バケツからこぼれた苛性ソーダが足にかかり、すぐに水で洗わず、薬傷を負った。
5	接客娯楽 (飲食)	調理	20代	1月	薬傷	厨房にて、清掃のために薬剤を染み込ませて床に敷いていたシートに気付かず転倒し、薬剤に触れて右半身に薬傷を負った。
6	その他	洗浄	40代	3週	薬傷	厨房にて洗浄作業中に、酸素系漂白剤入りのバケツの中から什器を取り出す際に溶液が目へ飛散した。
7	接客娯楽	接客	50代	1週	呼吸器系	プール等のろ過機がある機械室にて、薬品補充のため塩化アルミニウムのタンクに、誤って次亜塩素酸ソーダを補充してしまい、塩素ガスが発生し吸入した。
8	清掃	移送	30代 50代	死亡 死亡	呼吸器系	船舶の汚水を汚水処理船に受け入れ、汚水処理船で処理を行っていた労働者(2名)が、汚水処理層内に転落し死亡したもの(硫化水素中毒の疑い)。
9	建設業 (解体)	解体	60代	2月	薬傷	倉庫の解体工事において、屋上に設置された金属製のタンクを撤去作業中、残っていた液体が飛散し体へ付着し薬傷を負った。
10	製造業 (造船)	塗装	50代	1週	呼吸器系	船底タンクの塗装中、防毒マスクの吸収缶の交換を怠り、有機溶剤中毒となる。
11	製造業 (食品)	製造	20代	3週	薬傷	フライヤーの清掃中、手袋と腕カバーの間に洗剤(苛性ソーダ液)が入り込み衣類に付着。帰宅後に水で洗い流したが薬傷を負った。
12	運送	運転手	50代	3週	薬傷	タンクローリーに液化アルゴンの積込みのためホースの接続を行っていた。その際、弁を閉止せずにホースを外したため、ホース内の液体が両腕に掛かり凍傷を負った。
13	製造業 (その他)	オペレーター	60代	2週	薬傷	生コン出荷の際にプラントホッパーに詰まった生コンを取り除いていたところ洗い水が跳ねて作業服に付着。そのまま作業を続け、帰宅。皮膚の炎症、痛みが出た。
14	建設業 (ずい道)	土木	30代	1週	呼吸器系	立坑内にゴンドラを吊り下げ、坑内で発電機を使用していたところ一酸化炭素中毒となった。
15	製造業 (造船)	塗装	30代	2月	薬傷	塗装作業において、スプレーガンのホースが破裂し、ホースを握っていた手に薬傷を負った。
16	病院	看護	30代	1週	薬傷	患者の介助中に、自分が携行しているアルコール消毒液のボトルから液体が飛び散り目に入った。